



Title	アルテミス・ブラウロニアの奉納目録 (IG II ² 1514-1531)
Author(s)	藤崎, 香奈子
Citation	パブリック・ヒストリー. 2023, 20, p. 34-58
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/91230
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

アルテミス・ブラウロニアの奉納目録 (IG II²1514-1531)

藤崎香奈子

解題

はじめに

『イーリアス』第2歌の「船のカタログ」に代表されるように、古代ギリシア人は文学作品や碑文に、多くのリストを残している。⁽¹⁾各地の神殿には人々が神殿に奉納した物品を列挙し記録した奉納目録がある。奉納目録も、ギリシア人が残したリストの一種である。本稿では、アテナイのアクロポリスから出土した、アルテミスへ捧げられた奉納品の目録に注目する。この目録は、アテナイのアクロポリスから出土したが、アッティカ地方のブラウロンにあったアルテミスの神域の奉納目録の写しだと考えられている。ブラウロンは、結婚前の少女たちの通過儀礼の性格を持つブラウロニア祭が行われる場所であり、女性と深い結びつきを持つ。⁽²⁾目録には、この神域で女性たちが行ったアルテミスへの奉納が記録されている。本稿では、この奉納目録がどのような特徴を持ち、どのような点で注目されるべき史料なのか概観し、拙訳を付した。⁽³⁾

本資料の由来

アルテミス・ブラウロンの奉納目録は、アテナイのアクロポリスから出土した、奉納目である。そこには、紀元前4世紀に行われた奉納が記録されている。碑文内には、この奉納目録がどこの神域に属するものであるかは記されていない。しかし、目録の中で奉納品がアルテミスに捧げられたと書かれていることから、紀元前2世紀の旅行家パウサニアスがアクロポリス上にあったと記すアルテミス・ブラウロニアの神域、ブラウロニオンに属するものだと考えられるようになった。⁽⁴⁾目録の中に登場する奉納品が収蔵された建物の名前は「古い神殿」と「パ

(1) Kirk, 2021.

(2) Parker, 2007, p. 208.

(3) この史料を用いた代表的な研究としては、Linders が目録に注釈を施し年代や場所、内容についての考察をしている (Linders, 1972)。また、衣服については、Cleland が英訳と用語集を制作している (Cleland, 2007)。他、この目録に注目する研究には、Dillon, 2002 が女性による奉納の一例としてとりあげ、Kirk, 2021 がリスト形式の碑文の発展の中で取り扱っている。近年、女性と織物については Bröns がギリシアの聖域と儀礼における織物について研究を行っている (Bröns, 2014; 2015)。

(4) Linders, 1972, p. 2、パウサニアス『ギリシア記』1巻23章7行。

ルテノン」のみであった。そのため、発見当初、これらはアテナイのアクロポリスにあるアテナ神殿を指していると考えられた。しかし、奉納目録に記されているのはアテナではなく、アルテミスに捧げられた宝物である。加えて、紀元前3世紀半ばと考えられるブラウロンの建物の点検と修理に関する法令から「パルテノン」⁽⁵⁾と呼ばれた建物がブラウロンに存在したことが明らかになると、この奉納目録の「パルテノン」はブラウロンにあったものだと考えられるようになった。今日ではアテナイのアクロポリスから出土した奉納目録は、ブラウロンの神殿に保管されていた奉納品を記録したものであり、ブラウロンに建っていたオリジナルの奉納目録の写しだと推測されている⁽⁶⁾。

奉納目録の形式

この奉納目録はコラム形式で書かれている。コラム形式とは、1枚の石碑に縦に3列ほど横書きの文章のまとまりが並んでいる形式⁽⁷⁾である。この形式は、戦死者のリスト、神殿や神像の記念碑、没収財産のリスト、祭事暦、アルコンのリスト、法令のカatalog、奉納目録などによく使われた。コラム形式が用いられた碑文には共通して、ある期間の終わりに俯瞰的に刻まれる、終わった出来事の記念碑という特徴がある⁽⁸⁾。神へ奉納された金品は、奉納目録に記録されることで神のものになったという公的な保障を得ていた。そして同時に奉納という行為が石碑上で記念された。奉納目録がアクロポリスに展示されることで、神殿が所持する奉納品とともに、奉納者による奉納という行為もまた展示されていた。

女性自身の名前による奉納と奉納の目的

奉納目録には、奉納を行った多くの女性の名前や奉納された衣服の種類が記されている。これらは古代ギリシアの衣服に関する史料であり、また女性による宗教行為の記録でもある。Dillon は著書 *Girls and Women in Classical Greek Religion*, (2002) において、古代ギリシア世界の女性の宗教行為をまとめており、ブラウロンの奉納目録についても考察している。奉納を行った女性の名は夫や父親の名前とともに書かれることが多く、経済力などの観点から、女性がどこまで自立的に奉納を行えたかは不明である。しかしながら、アルテミス・ブラウロニアへの奉納とアスクレピオース神殿の奉納目録は、ともに父親やデーモスの名前が奉納者の名前と併記されず、奉納者の名前が単独で記録されている事例の比率が共に高い事例である。アルテミスへの奉納がおもに、女性によって行われた一方で、アスクレピオースには男女両性が奉納を

(5) Georges, 1962.

(6) Linders, 1972, pp.70–72. また、ブラウロンから出土した奉納目録は現在、未出版である。オロポスで、ブラウロンの奉納目録が記されていた石碑が墓石に再利用されていたのが発見され、Kalliontzis によって紹介されている (Kalliontzis, 2020)。

(7) 詳しくは Meyer, 2017 参照。

(8) *Ibid.*

(9) 病の治癒を願ってアスクレピオースへ奉納が行われた神殿。

(10) アテナイの行政単位。

行っている。アスクレピオース神殿は病の治療に関する神殿であり、レリーフや治療が必要な部位の像を崇拜者が奉納した。アルテミスには、女性が出産や月経に関する奉納を行った。ヒッポクラテスの『処女の病について』には初潮に苦しむ乙女たちがアルテミス・ブラウロニアに衣服を奉納していたことが書かれている。紀元前7世紀から紀元前3世紀に書かれたエレゲイア詩が集められた『ギリシア詞華集』の奉納詩では、出産の際に女性がアルテミスに衣服を奉納していたことが歌われている。また、エウリピデスの悲劇『タウリスのイーピゲネイア』では出産で命を落とした女性の衣服がアルテミス神殿に奉納されたことが記されている。このようにブラウロンやアスクレピオース神殿では、女性による女性自身の健康や出産に関する奉納が行われた。⁽¹¹⁾ これらは女性が女性自身の個人的な問題のために行った奉納と考えられ、女性が自立的に行った奉納である可能性が高い。

目録の目的と効果

アルテミス・ブラウロニアの奉納目録には、神殿が所蔵する奉納品が記録されている。以前作られた石碑に刻まれていた奉納品も、新しい石板に記録する度に改めて刻まれたため、異なる石碑同士で内容が重複している部分も多い。カークは、財産目録を作り展示する目的と効果としてポリスの財産の掲示、そして奉納品に価値を与え、また永遠化することを挙げている。加えて、服の色や置かれている場所などが記録されていることから、奉納目録を見ることで、人々は神殿が保持する財産を実際には見られなくても視覚的にイメージすることができたと述べている。⁽¹²⁾ ブラウロンの奉納目録では宝物庫にある奉納品が毎年記録され直していた。それは宝物庫の状況や実態の臨場感のある記録であったと考えられる。

石碑の構成

アクロポリスから出土したアルテミス・ブラウロニアの奉納目録の断片は IG II² 1514、1515、1516、1517、1518、1519、1520、1521、1522、1523、1524、1525、1528、1529、1530、1531 の16片である。⁽¹³⁾ この碑文について詳細な注釈を加えた Linders は石 1(1514+1523)、石碑 2(1515)、石碑 3(1516+1522)、石碑 4(1517+1518+1519+1520)、石碑 5(1521+1525)、石碑 6(1524) として同じ石碑を構成していた断片ごとに再構成されており、本稿でもこれに従う。以下、彼女による石碑の構成についての分析を紹介する。両面が残っている石碑は石碑 4 と石碑 6 である。どちらも表面には金もしくは銀の奉納品が記され、裏面にはまず衣服、衣服の次に青銅、鉄、象牙、木の物品が記されている。奉納品は奉納された年の順番に並べられ、奉納された年や奉納品の貯蔵されている場所が記録されている。これはアスクレピオースの奉納目録と同じ形式である。アッティカの奉納目録には、このような形式ともうひとつの形式がある。紀元前5世

(11) Dillon, 2002, pp. 9–36.

(12) Kirk, 2021, pp. 110–152.

(13) アクロポリスだけでなく、アゴラからも奉納目録の一部である断片が出土している (Woodward, 1963, pp. 169–182; Linders, 1972, pp. 64–66)。

紀のアテナ女神への奉納目録では、最近行われた奉納の年のみが他の大半の奉納品から離れて記され、その他は大きさに沿って並べられた。この形式で記録されるアテナへの奉納は、ポリスの守護女神としての女神への奉納であったとされる。奉納品はポリス内外から奉納された高価なものであり、それらは神殿に展示されていた。一方で、アスクレピオース神殿やアルテミス・ブラウロニアでは個人的な理由による奉納が行われていた。奉納品も必ずしも高価なものではなく、アルテミス・ブラウロニアに奉納された衣服は奉納者自身が着ていた衣服や作った衣服と考えられる。これらを大きさに沿って並べる必要性は小さく、取得した年や収蔵に沿って並べることが実用的な並べ方であったと考えられる⁽¹⁴⁾。また、奉納品の中には半分織られた衣服や羊毛があり、ただ衣服が奉納されただけでなく、織るという行為そのものも意味を持っていたと考えられる。Linders は石碑の年代や作られた順番についても考察している。まず、石碑に刻まれている最後の年がわかるものは石碑 3 のみである。石碑 3 には、ピュトデーロスがアルコンの年（紀元前 336/5 年）に奉納されたと、衣服についての情報が刻まれた後に、青銅品の奉納品が記録されている。青銅でできた奉納品が衣服の後、目録の最後の部分に刻まれるという構成は、アルテミス・ブラウロニアの奉納目録に共通している。従って、紀元前 336/5 年の衣服が石碑 3 に記録された最後の衣服の奉納であり、このことから石碑 3 は紀元前 336/5 年のものだと考えられる⁽¹⁵⁾。また、石碑 3 には石碑 1、石碑 2 と奉納品の内容が一致する箇所がある。石碑 3 には多くの略記が含まれ、石碑 1 には略記がなく、石碑 2 には少数の略記と石碑 1 に含まれる物品の目こぼしが一つある。前に作った石碑に既に刻まれている奉納品の一部は省略して略記で記録されたと考えられることから、これらの石碑が作られた時系列は石碑 1、石碑 2、石碑 3 だと推測される。また石碑 1-3 の共通点として、1 行の長さが約 40 文字という点がある。これらと同じく 1 行の長さが 40 文字の石碑 5 も 336/5 年周辺のものと考えられている。石碑 5 の中には石碑 4、石碑 6 と一致している部分があるが、石碑 5 の内容には略記が含まれないことから石碑 5 が石碑 4、5、6 の中で一番古いと考えられる。石碑 4 と石碑 6 には年代の手がかりは無いが、石碑 1、石碑 2、石碑 3 と内容が一致する部分があることから紀元前 336/5 年から遠く離れているものではないと思われる。そして石碑 6(1524) は多くの略記とラコス(ぼろ)についての記載を含むことから、最後に作られた石碑だと考えられている。石碑 6(1524) に刻まれる最も新しい年は紀元前 334/3 年だが、最後の年が刻まれた部分は現存していないため、紀元前 320 年代に作られた石碑である可能性もあると Linders は述べている⁽¹⁶⁾。

おわりに

アルテミス・ブラウロニアの奉納目録は、何よりもまず古代ギリシアの女性の衣服や装飾品についての史料である。加えて、奉納という女性による宗教活動が記録され、記念され、アクロポリスに掲示されたものであり、アテナイの女性たちによる宗教活動が公的に記録され、残

(14) Linders, 1972, pp. 68–70.

(15) 青銅の装飾品については年が刻まれていない。

(16) *Ibid.*, pp. 67–68.

された貴重な史料の一つである。織物を織るという行為は、女性の家事の一つであり、家の中で行われた生産活動であったが、織られた織物の奉納はアクロポリスに掲示される宗教活動でもあった。アルテミス・ブラウロンの奉納目録に記録されている奉納は、女神官といった特別な地位の女性や、祭祀など特別な機会に役割を持った女性ではない普通のアテナイの女性たちが行っていた宗教活動である。この奉納目録は、アテナイの女性たちが宗教儀礼や祭祀といった特別な機会を通してのみでなく、家庭内の生産活動を通して宗教に参画していたこと、またその活動が家庭内や個人の領域で完結していたものではなく、アクロポリスに掲示され、適切に行われたことが、ポリス全体に共有されていたものであることを示す史料なのではないだろうか。

(17)
試訳

底本 Kirchner, J. Inscriptiones Graecae II².

石碑 1

<第 1 列>

1523, 1-6 行

… [キ] トン、タランティ…、ιστι…χιτ…ες βα… [キトン] ε …

1514, 16-37 行目に前のコラムの残存数文字あり、省略。

<第 2 列>

1523, 7-29 行

… [フィロニケー、木箱の中の外衣、ぼろ。] [ペルシアの袖のある衣服、アカルナイ区のヒエローニュモスの妻、ディオファンテー、金がついた光るドレス、ぼろ。箱の中のまだらの袖がある豪華な衣服、メネクラティアが捧げた、ぼろ。] [ディフィロスの妻メネクラティア、] 麻の [キトン (下着)、ぼろ。ヘーゲーシッラ]、[麻のキトン、ぼろ。] ファナゴラ、[まだらの衣服。] [アリストマケー]、白い [キトン]、テレソー、[カエル色のキトン、ぼろ。] [オエ区の] カッリストラトスの妻、[模様のある頭帯。] 白いヘアネット、同じ女性。カッリッパー、[真ん中が紫のキトン、] ぼろ。[麻の] キトン、[同じ] 女性。[カッリッパー]、銀色の [キトン。] [幅広い赤紫色の模様がある] キトン、同じ女性、ぼろ。[ア] フィドナ区の、カッリスト [ラトスの妻]、まだらの袖のない外衣。[フレアッリオイ区の] ヘーデュー [レー、アモルギスの] ぼろのキトン。タッリス、ぜいたくな [アモルギスの] 衣服、[ぼろ。] 模様のあるヘアヴェール、ミニュッラ。タッ [リス]、ふちどりのある [キトン、袖のある衣服。] [アイシ] モスの

(17) IG II²を底本とし、異同がある場合には、Linders による読み、もしくは Linders が支持する読みを注記する。目録内の衣類の種別や模様については主に Cleland の解釈に従う。

(娘) ムネーシスト [ラテー]、[ふちが赤紫の] カエル色の [ぼろの] キトン。ミュッリネー、ぜいたくな衣服、ネアンド [ロスの(娘)] ファノディケー、[まだらの] 衣服、ぼろ。同じ女性、[男物の] [ぼろの] キトン。[ファイニ] ッペー、麻の [まだらの] キトン。[ペルシアの袖のある衣服、像が] 持つ、モスコスの娘レオース [テネースの妻が捧げた。]

<第3列>

1514, 1-74 行

… [色とりどりの] … [アモルギスの⁽¹⁸⁾] … [ペール] … [タランティノ⁽¹⁹⁾] … の脇…… [重さの刻印あり]、3 ドラクマ 1/2 オボロス。イピ…ネー…σ…アル [キ] ッペー [箱の中の] まだらの [袖のある衣服。] [カ] ッリマコスがアルコンの年 (349/8)⁽²¹⁾ に、ふちに模様のある [とがった縁取りのキトン]、カッリッペー。これは [織り込まれた文字] を持つ。カイリッペー、エウコリネー、[箱の中] にまだらの模様の衣服。[フィールメネー]、[アモルギスの] キトン。テオフ [イ] ロスが [アルコンの年 (347/8) に。] ピュティアス、まだらの長衣。テミストクレスがアルコンの [年 (348/7) に。] 箱の中の赤紫色の模様があるキトン、トゥアイネー⁽²²⁾ とマルタケーが [捧げた。] 箱の中の赤紫色の模様があるキトン、エウリコネー⁽²³⁾ が捧げた。フィレー、ガードル (下帯、腰帯)、フェイデュッ [ラ] 箱の中の白い女性用のヒマティオン (外衣)。ムネーソー、[蛙色の] 衣服。ナウシス、ふちに幅広い赤紫色の [波の縁取りの] 女性用のヒマティオン。クレオー、女性用のショール。フィレー、ショール。[テ] イシクラティア、メディア風⁽²⁴⁾ の袖のついた長衣。メリッタ、白いヒマティオンとキトン、ぼろ。クサンティッポスの妻グリュケラ、ふちに波の緑の [赤紫] の色褪せたキトン、そして二つの [トリボーニオン (短いヒマティオン)]。ニコレア、アモルギスのキトン、座像の [周りに。] 象牙の柄がある [鏡]、[壁] の近く、アリストダメアが捧げた。アルキアスがアルコンの年 (346/5)、パイアニア区のムネーシストラトスの娘、アルケストラ [テー]、箱の中の胸壁のような模様の [キトン]。ク

(18) アモルギス特産の上質のリネン糸。アモルギス島のリネンで作られた衣服を指す言葉と考えられている。Cleland は στύπνινον (リネン、麻) と対比して、産地ではなく上質なりネンを指す言葉として使われていた可能性も挙げている (Cleland, 2005, p. 107)。

(19) 二枚貝から採取する絹状の糸で作られた衣服、もしくはタラスの布で作られた衣服。織りかけであると言及されているタランティノンがあり、家庭で作られたと考えられる (Cleland, 2005, p. 127)。

(20) 重さの単位。1 ドラクマは 6 オボロス。

(21) 訳文中における年号は全て紀元前である。

(22) Linders は、「ネー」の読みを疑う (Linders, 1972, p. 11)。

(23) Linders は「エウリコネー」の前に「像の脇に」とあった可能性を支持する (*Ibid.*)。

(24) ράκος。目録の反復の中で付け加えられていく、奉納品の状態を表す指標だと考えられている (Cleland, 2005, p. 126)。アルテミス・ブラウロン以外の目録でも壊れたものや欠けたもの、再利用できない、溶かせない材料で出来たものが目録に挙げられている事例があるが、これらが目録に載せられていることは奉納品として価値があることの証拠だと Kirk は考えている。また、ράκος は『オデッセイア』でオデッセウスがイタカ島へ帰還する際に、乞食に変装するため纏った衣服でもある。Kirk はブラウロンの奉納目録の中の ράκος という言葉は、この伝説を想起させるものであり、破棄されたもの、捨てられたもの、を意味するのではなく記録と査定に値する貴重な遺物を指す言葉であったと考えている (Kirk, 2021, pp. 146-149)。

セノフィ [ロスの(娘)] ムネーシストラテ、紫の縁取りの白いヒマティオン、石の [座像を] 覆う。子供用のなめらかな [無記名の] キトン、ふちに織られた [とがった模様を] 持つ。クセノファンテ、とがった縁取りの [房飾りがあるキトン]、これは籠の中にある。[ニコ] ブレー、模様のある新しい [タペストリー]、中心 [に] 献酒するデュオニュソスと酒を注ぐ女性の柄を [持つ]。アリストイア、箱の [中] のタペストリー、中央に握手の図像がある。エウブーロスがアルコンの年 (345/4) に。アルテミスの供物と [記されている]、[古い] 座像を覆うショール、テアノー。古 [い] 座像を覆うショール、[ペ] ンテテ [リ] ス。[古い] 座像を包むタランティノン、テアノー。まだらの双翼の衣服、[古い] 座像を包む細い毛皮の豪華な外衣。なめらかな無記名の放物状の模様を [持つ] 外衣。なめらかで白い子供の外衣、アルテミスへの供物と [記されている]、緋色で、放物状の模様を持つ。ふちに模様があるとがった縁取りの [キトン]、立 [像] を包む。とがった縁どりのあるキトン。無記名の [ドレス。] クセナリステ、[ペ] リトイダイ区のアンティフォーンの妻、とがった縁取りのキトン。ドレス。白い胸壁の波模様、[幅広い赤紫色の] 無記名の [キトン。] 男物のヒマテ [イ] オン、アルゴニアスが神に捧げた。ふちどりのあるカエル色の衣服、アテーナイスが捧げた。] 無記名の赤紫色の異国風の服、[ぼろ]、ムネーシ [ス] トラテ、箱の中のショール。アンティピオスの妻フェイデュッラ、アモルギスの一重のキトン。カッリッパー、とがった縁取りのキトン。ニコ、アルテミスへ、縁どりのある [キトン。] ハラ [イ] 区のアテテロ [ス] の (娘)、ヒッポダメ、[箱] の中の [半分織られた] キトンと [横糸と羊毛]。[紫のふちどりの一重の] キトン、…ツペーが捧げた。ファノスト [ラ] テ、[まだらの] …赤紫色の…ην。アリスト、[まだらの] …亜麻布の中、[柔らかい羊毛]、ヘーデューレー。[サフラン色の] 子供の [無記名のキトン]。カイレストラ [テ、半分織られたキトン]、ぼろ。[リュキスコス] がアルコンの年 (344/3) に、クセノクラテースの妻⁽²⁷⁾…、二重の [クロトス]、… [アモルギスの、無記名の衣服。] [フィレー、箱の中の二重の] クロトコス。[ライ区] のムネーシ] デーモスの妻 [フィ

(25) 文字が無い衣服。訳出においては Linders の解釈に従う。奉納された衣服には通常、一般的な奉納品と同じように、またデモステネス第 25 弁論のヒュポシシスで言及されているように、奉納者の名前が記されていたと考えられている。このことから目録中の ἀνετίγραφον, ἄγραφος (文字が無い) を Linders は奉納者の名前が記されていないという意味だと解釈している (Linders, 1972, pp. 12-13)。Aleshire も、この単語を奉納者の名前の表示がなく、また奉納品そのものから奉納者がわからないものと解釈している (Aleshire, 1989, p. 232)。一方 Kalliontzis はオロポス出土の石碑において奉納者の名前とともに「文字がない衣服」が奉納されていることから、Aleshire が言うような奉納者の名前がわからない衣服ではなく、「過去の記録でまだ目録に載っていない」物品を指す単語であると解釈している (Kalliontzis, 2020, p. 134)。しかし筆者は、奉納品そのものに奉納者の名前が記されていないとしても奉納の際、もしくは時を経ずに、奉納目録などに記録され管理されていたと推測すると、「無記名の」衣服が奉納者の名前と共に記録される事例もあったと考える。

(26) 「タランティノン」 (Linders, 1972, p. 20)。

(27) 「パルテニオン」 (*Ibid.*, p. 20)。

(28) サフランで染められた衣服。女性やディオニュソス、女のような男が着る衣服とされる。アリストファネスの『女の祭』138 行、『女の議会』879 行、『リュシストラテ』44 行、『蛙』46 行などに登場する (Cleland, 2005, p. 119)。

(29) 「アモルギスのキトン」 (Linders, 1972, p. 20)。

ルー] メネー、[アモルギスの等しいひだのキトン。] カリストー、アモルギスの [二重のキトン。] [無記名の等しいひだのアモルギスのキトン。] 二重の [等しいひだの無記名のキトン。] [キトン] … [二重の⁽³⁰⁾ … [まだらの⁽³¹⁾ … [タ] ランティノン…タ [ラ] ンテ [イノン。] [赤紫色のふちどりの白いヒマティオン]、[捧げ物と記される。] エクセーケストスの (娘) クレイノー、タランティノン。アスクレピオドー [ラ]、[縁取りが織られた木箱の中の衣服、まだらのぜいたくな] π…οv [半分織られた] 衣服と横糸 μ…ο…χ…キトン…

石碑 2

1515, 1-33 行

[箱の中に。] [カッリマコスがアルコンの年 (349/8) に。] [とがった縁取りのキトン、ふちに模様。] [カリッパー、これは] 織り込まれた [文字を持つ。] [カイリッパー、エウコリネー、] 箱 [の中にまだらの模様の衣服。] フィルメ [ネー、アモルギスのキトン、テ] オフィロスの [年 (348/7) に。] ピュティアス、[まだらの長衣を、テ] ミストクレ [ス (がアルコン) の年 (347/6) に。] [箱の中のふちに赤紫色の模様があるキトン]、トゥア [イ] ネーとマルタケー [によって捧げられた。] [フィレー、ガードル (下帯、腰帯)。] フェイデュッラ、[箱の中の] 白い [女性用の] ヒマティオン。ムネーソー、蛙色の衣服。ナウシス、[女性用の] ふちに [幅広い赤紫色の] 波の縁取りのヒマティオン。[クレオー、ヴェール。フィレー]、縁どりのある衣服。テイシクラティア、メディア人の袖のついた模様のある長衣。[メリッタ]、白いヒマティオンとキトン、[ぼろ。] [クサ] ンティッポスの妻 [グリュケラ]、[ふちに波の縁取りの] キトン、[赤紫の色褪せた衣服]、そして二つのトリポーニオン。ニコ [レ] ア、[アモルギスのキトン、] 座像の [周りに。] 象牙の [柄がある鏡]、[壁の近く]、アリストダメ [イア] が捧げた。[アルキアスの年 (346/5)]、[パイアニア区の] ム [ネー] シ [ス] トラ [トス] の娘、[ア] ルケストラテー、[箱の] 中の [胸壁のような模様のキトン。] クセ [ノフィロスの (娘)] ムネー [シス] トラ [テー]、[紫の縁取りの白いヒマティオンヒマティオン、これは石の座像を覆う。] [子供用のなめらかな無記名のキトン、ふちにとがった模様。] クセノファ [ンテー、とがった縁取りのふさかざりのあるキトン、これは籠の中に。] [ニコブロー、模様のある新しいタペストリー、中心に献酒するデュオニュソスと酒を注ぐ女性の柄を持つ。] [アリストイア、箱の中のタペストリー、中央に握手の] 図像 [がある。] [エウブローロスがアルコンの年 (345/4) に、アルテミスの] 供物と [記されているヴェール]、… [古い座像] を [覆う]、[テアノー。] [古い座像を覆うヴェール、ペンテテーリス。] [タランティノン…古い座像の周りに]、[テアノー、まだらの双翼の衣服、古い座像の周りに。] [なめらかな無記名の放物状の模様を持つ外衣。] [なめらかで白い子供の外衣、アルテミスへの供物と記されている。]

(30) 「シュノーリス」 (*Ibid.*, p. 20)。

(31) 「ムネーシストラトスの妻」 (*Ibid.*, p. 20)。

(32) 「アガクレイアが」 (*Ibid.*, p. 20)。

(33) Linders は「白い」ではなく「もう一つの」を示唆。 (*Ibid.*, p. 20)。

石碑 3

1516, 1-23 行 (前のコラムが 3-24 行目に数文字残存、省略)⁽³⁴⁾

… [そして二つのトリポーニオン]。[ニコレア、アモルギスのキトン、座像の周りに。] [柄が] ある [象牙の鏡、[壁の] 近く、[アリス] トダメイアが捧げた。アルキアスの年 (346/5)、パ
イアニア区の [ムネーシストラ] トスの娘アルケストラ [テー] [箱の中の] 胸壁のような模
様のキトン。クセノフィ [ロ] スの (娘) ムネーシストラテー、白と [紫] のヒマティオン、[こ
れは] 石の座像を纏う。[子供のけむくじゃらな無記名のキトン、ふちにとがった模様を] 持
つ。[クセノ] ファ [ン] テー [とがった縁取りの] ふさかざりのあるキトン、[これは籠の中
に。] ニコ [プー] レー、[模様のある新しい] タペストリー、中心に献酒するデュオニュソス
[と酒を注ぐ女性の柄を持つ。] [アリスト] イア、[箱] の中の [タペストリー、中央に握手の
図像がある。] エウブーロスが [アルコンの年 (345/4) に。] [アルテミスの供物と記されている]、
古い座像を覆う [ヴェールを]、テアノーが。古い座像を覆う [ヴェール]、ペンテテーリ [ス
が]。古い座像 [を覆うタランティノンを]、テアノーが。まだらの [双翼の衣服]、[古い] 座
像 [の周りに]。なめらかな [無記名の放物状の模様を持つ外衣。] [なめらかで] 白い [子供
の外衣]、アルテミスへの [供物と記されている]、[緋色の、放物状の] 模様を持つ衣服。[とが
った縁取りのキトン、ふちに模様がある]、[神像] を覆う。[とがった縁どりのあるキトン。] [無
記名のドレス。] ペ [リトイダイ区のアンティフォーンの妻]、クセ [ナリステー、とがった縁
取りのキトン。] [ドレス。白い胸壁の波模様、幅広い赤紫色の無記名のキトン。] [男物のヒマティ
オン、ア] ルゴ [ニ] ア [スが神に捧げた。] [ふちどりのあるカエル色の衣服]、[ア] テーナ
[イ] スが [捧げた。] [赤紫色の異国情風の服、ぼろ、無記名の衣服。] [ム] ネー [シス] トラテー、
箱の中のヴェール。] アンティビオス [の妻フェイ] デュッ [ラ、アモルギスの一重のキトン。]
カ [ツ] リッ [ペー、とがった縁取りのキトン。] ニコー、[アルテミスを包むキトン]、ハラ
[イ] 区のテオテロ [ス] の (娘) ヒッポ [ダマー、箱の中の半分織られたキトンと横糸、羊毛。]
[紫のふちどりの一重のキトン、…ツペーが捧げた。] [ファ] ノスト [ラ] テー、[まだらの…
赤紫色の…。] [アリストー、まだらの…亜麻布の中、柔らかい羊毛、ヘーデュレー。] [サフラ
ン色の子供の無記名のキトン。]⁽³⁵⁾ [カイレストラテー、半分織られたキトン、ぼろ。] [リュキ
スコスの年 (344/3) に、クセノクラテースの…、二重のクロトス、…アモルギスの無記名の。]
フィレー、[箱の中の二重のクロトコス。] [フィロメネー、ランプトライ区のム] ネーシデー
モスの [妻、アモルギスのひとしいひだのキトン。] カッリ [スター、アモルギスの二重のキ
トン。] [無記名の等しいひだの] アモルギスの [キトン、ヴェール。]

(34) 行の残り 2-3 文字のみ残存、Linders によると、Woodward が 12-14 行を暫定的に「…これを引き渡した…と
同僚が、…がアルコンの年に」と読んでいる (*Ibid.*, p. 24)。

(35) 「タランティノン」 (*Ibid.*, p. 20)。

(36) 「パルテニオン」 (*Ibid.*, p. 26)。

(37) 「キトン」 (*Ibid.*, p. 20)。

…ρ…ητον、ムネーシス⁽³⁸⁾ [トラテー]⁽³⁹⁾ … [タランティノン。] [赤紫色のふちどりのもうひとつの] ヒマティオン、[捧げ物と記される。] エクセー [ケストスの (娘)] クレイノー、[タランティノン。] [アスクレピオドーラ、縁取りが織られた木箱の中の衣服。] [まだらのぜいたくな π] …σ…λ…ον [半分織られた衣服と横糸 μ] …ε…λι…φ ν…デーモク… [広い赤紫色の]⁽⁴⁰⁾ …ο… [キトン] … [キトン] …トリキ。[妻。] κ τ… [妻]、[とがった縁取りのキトン] …の [娘]、[ヒマティオン] … クロコトス

1522, 1–37 行

E I …ONA… [細工された] … [等しいひだのある衣服]、メリスト…κ…の中の初夏の衣服…箱の中の、Θ…1 オボロス。クレオプー [レー] …ο ν [赤紫の]、ερ…ας…等しいひだのあるクロコトス、[同じ] …カイローンダスが [アルコンの] 年 (338/7)、…中心が赤紫色の [ヒマティオン]、[同じ] …等しいひだのあるクロコトス、同じ…の妻、σθν…δ.ι.επ…σας…ες、フリュニコスの [年] (337/6)。アルケス…εςの (娘) [クリュ] シッラ、[模様があるアモルギスの衣服、飾り紐を持つ] …フリュ [ニコス]⁽⁴²⁾ の年 (337/6)…ι δ η…等しいひだのある衣服… [スト] ラテー、ヴェール。アリストディ [コスの (娘)] グリュケラ… [ιππη]、箱の中の三つのヘアヴェール、[キトン] … [無記名。] カリサンドロ [ス] の (娘)、カイレストラテー⁽⁴³⁾ αν παρῦπηργμενον 赤紫色の衣服。フィロメ [ネー]、…の妻。[ふちに模様がある] 白いキトン、[ピュトデーロスの年 (336/5)]、ロデー、杼の中の亜麻、そして⁽⁴⁴⁾ καμητρα…[v]ενημην 赤紫色の衣服。デーモク [レー]、…の娘ファノストラテー、赤紫色のふちがあるタブソス島の黄色のキトン… [赤紫色の衣服。] デーモストラテー、二重のクロコトス、πε [ρι] …τον 二重の衣服。 [無記名の] 半分織られたタランティノン…[δ]ε⁽⁴⁵⁾ 手足、柔らかく細工された [無記名の]⁽⁴⁶⁾、[…マ] ケー、立 [像] が持つ、[飾り紐がついた] 二重のクロコトス。… [銅について。] 鏡、119、ほかの [小さな]⁽⁴⁷⁾ …ε 取っ手のない、使えないカドス (杯)、… [ポテール (酒杯)]、3、キュムペー、1、フィアライ (盃)、[石鹼入れ] 5、コートーン (ラコニア風の盃)、κιβωπι…⁽⁴⁹⁾、[机]、キュリクス (短い脚と二つ把手のついた、広口の浅い酒杯)、[碧玉]⁽⁵⁰⁾ …22、[ポテール]

(38) 「ムネーシストラトスの妻」 (*Ibid.*, p. 26)。

(39) 「タランティノン、アガクレイア」 (*Ibid.*, p. 26)。

(40) 「赤紫色の縁取りの」 (*Ibid.*, p. 26)。

(41) Linders は衣服の数を示す単語が入ると推測 (*Ibid.*, p. 26)。

(42) 「金が付いた (ἐπίχρυσα)」 (*Ibid.*, p. 26)。

(43) 作りかけの奉納品、もしくは省略のサイン (*Ibid.*, pp. 26–27)。

(44) 「κλωστήρ (紡錘、もしくは糸のかせ)」 (*Ibid.*, p. 27)。

(45) 「皮袋の中の」 (*Ibid.*, p. 27)。

(46) 「羊毛」を補う (*Ibid.*, p. 27)。

(47) 「ζωμήρυσσι σ」 (*Ibid.*, p. 27)。

(48) 「底のない」 (*Ibid.*, p. 27)。

(49) [ο ν …下に置かれた] (*Ibid.*, p. 27)。

(50) […スイカズラ模様の、鏡] (*Ibid.*, p. 27)。

(51) (52)
…ρη…ηριον…τε

石碑 4

A 面

1517, 1-2 行

Λο…YM…ος アナフリユスト [ス区⁽⁵³⁾の]

<第 1 列>

1517, 3-17 行

[金について]。[パ] ルテノンから、第 1 の木箱。[純金の] 丸い [指輪] と銀で縛られた [金塊]。重さ 1 と 1/2 オボロス。二つ編みのような金の [指輪]、重さ 3 ドラクマ 1/2 オボロス。金の虫食い跡のような印章、重さ 4 と 1/4 オボロス。⁽⁵⁴⁾ ナウシス [トラ] テー、金の [盾]、重さ 2 ドラクマ 4 と 1/2 オボロス。黄金の [首飾り]、[重さ] 1 ドラクマ 4 オボロス…金の [カンタロス (把手の付いた盃)]、[重さ]、4 と 3/4 オボロス。キュダテーナイオン区のハグノテオスの [妻] ソース [トラテー]、[金の神像]、重さ 6 ドラクマ 2 と [3/4 オボロス。] ヘーシュキア、丸い [金の] 指輪、[重さ] 5 と 3/4 オボロス… [金の]、[重さ] 5 オボロス、κλ…α 金の、重さ…νι イカロ…ερμενο…τα…ο

1518, 1-16 行

…3 と 1/2 オボロス… [指輪] … [指輪] … [重さ] …5 と 1/4 オボロス。…3 オボロス。Φα… [白い金の] … [金の指輪] … [ιτ] που キュ…オドーラ…イッペー… [重さ] … [金の盾] … [指輪] …PI

1517, 91-109 行

…οι…[ανευ του]…σιου…[Διοκλε]…η ステファ [ノスの] … [ムネーモ] ディケー、ダオー [ンの] …ファイニツ [ポスの年]⁽⁵⁵⁾ …εση フルーロスの… [金の指輪、重さ]、…α リュコーンの、[金の] 指輪、[重さ] 2 と 3/4 オボロス…テオ [ポンポスの妻] アリスト [マ] ケー金の [首飾り]、1 ドラクマ [1] と 3/4 オボロス、[ヒエロ] クレースの (娘) [ヒエロテア]、金の [カ] ンタロス、…ヒッポマコスの (娘) [デー] モストラ [テー]、[白い] 金の [指輪]、重さ 2 オボロス。デーモス [トラテー、金の指輪]、重さ 4 と 1/2 オボロス。… [金の指輪]、重さ [5 と 3/4 オボロス。]

(51) […立っている…κ] (*Ibid.*, p. 27)。

(52) [στ] (*Ibid.*, p. 27)。

(53) オロポスから出土したブラウロンに建っていた石碑の助けを得て、アナフリユト [ス区] [オリュ] ン [ピコ] ス [と、その同僚] と読まれている (Kalliontzis, 2020, p. 118)。

(54) 以下判読不能なため金額は確定できない。

(55) ἐπὶ τῆς Φαινίτ [που]、Linders は [που] の補いに懐疑的 (Linders, 1972, p. 36)。

…の [妻]、[金で留められた] カーネリアン、⁽⁵⁶⁾ [重さ] …、… [カッリオスの妻 κ] … P…重
さ 5 と 1/2 オボロス、… [の妻、金の首飾り]。

<第2列>

1517, 18–36 行

ニコ…マル [タケー] … ν、[未計量の] …τιον…τιον… [リネンと合わせて、重さ] …ατος
λε…ερε…ε… [一緒に混じりあった、重さ] …、2 と 1/2 オボロス、Λ…δες。3 ドラクマ…χα…
ων…ητωμα…指輪…2 ドラクマ。1 と 1/2 オボロス Λ…ν ενδε…金の…ιρ…

1518, 17–32 行

… [混ざった金] … [金の鎖] …ης [重さ] … [結びついた] … [欠けている金の] …金の…
[指輪] …χη アビュドス出身の… [重さ] 4 と 1/2 オボロス…1 オボロス。Λ… [指輪] …εστ 1
オボロス… [エピスタタイが引き渡した] …ιτ…ρ…

1517, 37–63 行

εμβ…ν 金の α…ファレー [ロン区の] エピカルモスの妻… [金の]、重さ 2 ドラクマ 3 オボロ
ス… [パルテノン] へ捧げられた。[一緒に混じりあった] 金、[重さ] …黄金の首飾り、重さ
…α エロイアダイ区のポイオートスの [妻] … 壁の際に。アリステ… [未計量の]、重さ…、
[書かれた] … [テ] イシクラティア、鹿の柱の [側に金の盾、未計量の] …金の髪飾り、[壁
の際に未計量の。] エウツマコス エウテュデ… [オスの] …ας 金の、[回廊] の中に…⁽⁵⁷⁾ [重さ]
書かれた、2 ドラクマ 3 オボロス… [金の] [κ] ρατους(支配の) 首飾り…26 オボロス。τ…の
下の未計量の… [重さ] …、書かれた、2 ドラクマ…中に金を [持つ]。[ピュトドトスがアル
コンの] 年 (343/2) のエピスタタイが引き渡した。ト [リコス区] のカッリストラトス、[そし
て同僚であるエピスタタイが、ソーシゲネス (342/1) がアルコンの] 年の [エピスタタイに引
き渡した]。[ア] リストマケー、[首飾り] …輝かしい [黄金の…ソーシゲネス (342/1) がア
ルコンの年のエピスタタイが引き渡した] …⁽⁶⁰⁾οδημο[ς]…と同僚が、ニコマコスがアルコンの年
(341/0) のエピスタタイに] …

1517, 110–118 行

σ…κα…τα…ορμ [ο] … [指輪] … [指輪] …λ ο…εκ το[υ]⁽⁶¹⁾ …スミク [テー] …

(56) 「未計量の」 (*Ibid.*, p. 36)。

(57) 「未計量の」 (*Ibid.*, p. 37)。

(58) 「ピュトデーロスの年 (336/5)」、もしくは「エウアイネトスの年 (335/4)」 (*Ibid.*, p. 37)。

(59) 注 58 と同じ。

(60) 「フィロデーモス」 (*Ibid.*, p. 37)。

(61) この後に「古い神殿から」 (*Ibid.*, p. 37)。

<第3列>

1517, 64-90 行

…ους [重さ] …στος [捧げられた] …ατις 3 オボロス。[もうひとつ⁽⁶²⁾がアルコンの年に、
捧げられた]⁽⁶³⁾ …エウファロスネー、Φ… [壁の際に]、未計量の。λ…指輪。[…がアルコンの
年に捧げられた] …の中に… [キュリクス]⁽⁶⁴⁾、重さ、⁽⁶⁵⁾重さ 1 と 1/4 オボロス、[黒檀]⁽⁶⁶⁾ の中
…平鉢 [の下]、1 オボロス⁽⁶⁷⁾…重さ 1 と 1/2 オボロス、エウクテート… [重さ] …5 オボロス 2
ドラクマ 1 オボロス。[テエッロスがアルコンの年 (351/50) に、捧げられた]、指輪 3 ドラクマ。
ς… [銀貨] … [アポッドロー] ロスがアルコンの [年 (350/49) に、捧げられた] … [捧げられた]、
パシレア…メリテー、[指輪]、… [貨幣 5] と 1/2 オボロス。[指輪] …ιος [オレイカルコスの (銅
の合金)]、…διον [鉄の] … [象牙の。] [もう一つ象牙の] … [壁の際に] …… [がアルコンの]
年に [捧げられた。] イフィディ [ケー、金の⁽⁶⁸⁾…金の] …

<位置不明のもの>

1519, 1-16 行 (A 面第 2 列または第 3 列か)

…ο… [新品の指輪] … [重さ] 1 ドラクマ 1/2 オボロス…ηρ παλ…ηλιοι δ… [リネン] と一緒に [重
さ] … [金の指輪] …θεις [重さ] … [置かれた] … [テ] ミストク [レスがアルコンの年 (347/6)
に]、[女神官が、古い神殿から] …X…と一緒の [エピスタタイに渡した] … [首飾り、重さ]
…ων μενεκρα [テ] … [重さ]、[リネンと] 合わせて…ων [テ] オ…

1520, 1-13 行 (A 面第 1 列もしくは第 2 列の冒頭か)

…ω…λι…ρονε…οσει…εις Δ… [重さ] 2 ドラクマ… [像] …1 ドラクマ 3/4 オボロス、Ο…1
オボロス、[重さ] … [円筒] … [重さ] 1 ドラクマ 1 オボロス κ… [金の] …ιονα…

B 面

<第1列>

1518, 33-47 行

数文字残存 (省略)

<第2列>

1517, 119-139 行

… [無記名の]。[ピュトドトスの年 (343/2)。^o] [カイレストラテー、箱の中の] アモルギスの [キ

(62) 「トゥーデーモスの年 (353/2)」 (*Ibid.*, p. 38)。

(63) 「銀の」を補う (*Ibid.*, p. 38)。

(64) 「キビ」 (*Ibid.*, p. 38)。

(65) 「…ヘドゥリネー、指輪」 (*Ibid.*, p. 38)。

(66) 「[黒檀] の中…平鉢 [の下] は、[オボロスを投げる、] 平鉢 [の下]」 (*Ibid.*, p. 38)。

(67) 「キビと ἐνώδια, 2」 (*Ibid.*, p. 39)。

(68) Kirchner は IG II² で「金の」を補うが、Linders は懐疑的 (*Ibid.*, p. 39)。

トン。] [アルケストラテ、箱の中の [縁取りが織られた折りたたまれた衣服。] [ティモク
ラテースの妻、箱の中の模様があるキトン。] [リュシ] ッラ、[箱の中の白い] キトン。[カリッ
ペー、子供の] ヒマティオン。[赤紫の縁のある衣服。] [エウブーレー、麻の] キトン。[パンテ
リス、広い赤紫色のキトン。] [ハグノデーモスの妻、麻のキトン]。[クリュシス、男物の外衣。]
アリストマ [ケー、とがった縁取りのキトン。] [メ] リテー、[男物のキトン、同じ女性、も
う一つ男物の] キトン。…縁に模様のある [キトン] …無記名の [赤紫の縁取りの]⁽⁶⁹⁾、… $\lambda\epsilon\iota\alpha$ 、[一
緒に縫い込まれたヴェール。] A… [タランティノン…ソー] シゲ [ノ] ス [(がアルコン) の
年 (342/1) に。] フィロ⁽⁷⁰⁾… [カ] ッ [リ] ス [ト] マケー、キトン… [胸壁のような模様の衣服] [ぜ
いたくな] … [ぼろ]、⁽⁷¹⁾ [中央に模様のある衣服] … [白いヒマティオン。] … [ヴェール] …⁽⁷²⁾

1518, 48–74 行

[$\epsilon\pi\beta\lambda$]… $\delta\iota\lambda[o\cdots\lambda]$ … [タ] ランティノン、ぼろ。… $\nu\omicron\varsigma$ アカルナイ区民、[赤紫色の] …アンテ
カル [モスの妻、] [フ] ラシッラ、[銀色のキトン。] ファナ [ゴラ K…妻、] [半分織られた]
羊毛の織物、[と羊毛と横糸。] オイナテー、[木箱の中のまだらの衣服]。子供の [外衣、ニコ
テレースの (娘) ニコマケー。] カッリッポスの妻 [ロー] メー、[籠の中の柔らかい羊毛。] ミュ
ルタ、[箱の中の女性の] 幅広い赤紫ガードル。カッ [リ] ス、籠の中の柔らかく [細工され
た羊毛。] アルキッペー、赤紫色のふちどりの [ヒマティオン]、デーモニケー、[幅広い赤紫
の模様のあるキトン。] 女性のキトン、[もう一つ] 幅広い赤紫色の無記名の衣服。これら、[碑
に記載のないものが] 神域にて [引き渡された]。アリストー、アモルギスのキトン、[アルケ
スト] ラテー、アモルギスのキトン、アルキッペー、[麻のキトン]、ぼろ。ディオ [ドーロ
スの (娘)] アリスタルタゴラ、女性の半分織られた [ヒマティオン]、そして [羊毛] … $\omicron\alpha$ ま
だらのぜいたくな、[ぼろ] …アモルギスの [キトン]、ぼろ。[アモルギスのキトン、もう一
つ無記名の放物状の模様を持つ]⁽⁷⁴⁾ … [籠] 中の [銀色の羊毛]、… [ニ] コマコスの $K\lambda\epsilon\alpha$ … [キ
トン] …

1517, 162–182 行

… [贅沢なクロコトス] … [ヒマティオン] … $\kappa\lambda\epsilon\upsilon\varsigma\Lambda$ … [アモルギスの] … [箱] の中… [赤
紫色の] ι …⁽⁷⁵⁾ 中の…の妻 $\kappa\alpha\tau\cdots\alpha$ の上に。… δ …⁽⁷⁶⁾ [キトン] … $\pi\epsilon[\rho\iota]$ …ファノストラトスの…
 $\epsilon\alpha$ ストロイボスの… [アモルギスの。] クレイノー… [赤紫の] N…の妻、[キトン] … [押

(69) 衣服の種類は残っていない。Linders はキトンと推測 (*Ibid.*, p. 40, p. 59)。

(70) ソーシゲノスがアルコンの年のエピスタタイ、フィロデーモスと推測される (*Ibid.*, p. 40)。

(71) 「中心に模様のある蛙色のキトン」(*Ibid.*, p. 41)。

(72) 「[Ζωτη]ρίς」(*Ibid.*, p. 41)。

(73) 「羊毛の上衣」(*Ibid.*, p. 44)。

(74) 「Eὐ もしくは Eὐθ で始まる名前」(*Ibid.*, p. 44)。

(75) 「木箱の中の」、もしくは「縁どりのある」(*Ibid.*, p. 44)。

(76) δ を $\iota\theta$ と解釈し、後に「金属の装身具」を補う (*Ibid.*, p. 44)。

し込めた⁽⁷⁷⁾ …ソー… [ファ] ノディコスの⁽⁷⁸⁾ σ…ενα ファイニ… [麻の]、…[τ]ιμος [神殿管理者]、
[グナ] タイナ…στη Μο…οθη Μυ…να Α…

1517, 183–185 行

… [アモ] ルギスの… I …

<第3列>

1517, 140–162 行

[テアノー。] [古い座像の] 周り [を覆うヴェール]、[ペンテテーリス]。[古い座像の周りに] タランティノン、テアノー。[まだらの双翼の衣服]。古い座像の周りに。[なめらかな] 無記名の放物状の模様を持つ [外衣。] なめらかで白い [子供の] 外衣、アルテミスへの供物と記されている、[緋色の]、放物状の模様を持つ。とがった縁取りのキトン、ふちに模様がある、立 [像の] 周りに。[とがった縁どりのある] キトン、[無記名のドレス。] クセ [ナ] リステー、ペリトイダイ区のアンティフォーンの妻、とがった縁取りのキトン、[ドレス。] 白い胸壁の波模様、幅広い赤紫色の無記名のキトン、男物のヒマティオン、アルゴニアスが神に捧げた。ふちどりのあるカエル色の衣服、アテーナイスが神に捧げた。赤紫色の異国風の服、ぼろ、無記名の服、ムネーシストラテ、箱の中のヴェール。[ア] ンティビオスの妻フェイデュッラ、アモルギスの一重のキトン。カッリッ [ペー]、とがった縁取りの [キトン。] ニ [コー、アルテミスを] 包むキトン。ハライ区の [テオテロスの (娘) ヒッポダメー、箱の中の半分織られたキトンと横糸、羊毛] …

1518, 75–92 行

I …η [キトン]⁽⁷⁹⁾ …παρθ⁽⁸⁰⁾…二重の [クロコトス]⁽⁸¹⁾ …フィレー、[箱の中の二重のクロトコス。]⁽⁸²⁾ [フィール] メネー、[ランプトライ区の] ムネー [シデーモスの妻、アモルギスのひとしいひだのキトン。]⁽⁸³⁾ [カッリストー、アモルギスの二重のキトン。] [無記名の等しいひだのアモルギスのキトン。] [ひとしいひだの2重の無記名のキトン。] [Δ?]⁽⁸⁴⁾ ωρις、[まだらの]⁽⁸⁵⁾ … [タ] ランティノン…ov 白い ε⁽⁸⁶⁾…εκ [セーケストス]⁽⁸⁷⁾ の (娘) クレイノー、[タランティノン。] [アスクレ

(77) 「押し込めた」が修飾する物品は「羊毛」と解釈 (*Ibid.*, p. 44)。

(78) 「押し込めた羊毛」(*Ibid.*, p. 44)。

(79) [子供の無記名のキトン。カイレストラテ、半分織られたキトン、] (*Ibid.*, p. 45)。

(80) 「ぼろ。リュキスコスの年」(*Ibid.*, p. 45)。

(81) 「クセノクラテースの妻パルテニオン、クロコトス」(*Ibid.*, p. 45)。

(82) 「キトン」(*Ibid.*, p. 20)。

(83) 「アモルギスの無記名の」(*Ibid.*, p. 45)。

(84) 「スンドーリス」(*Ibid.*, p. 20)。

(85) 「ムネーシストラトスの妻」(*Ibid.*, p. 45)。

(86) 「[アガクレイア、タランティノン。ヒマティ] オン」(*Ibid.*, p. 45)。

(87) 「もう1つ捧げものと記された」(*Ibid.*, p. 45)。

ピ] オドーラ、[縁取りが織られた木箱の中の衣服。] [まだらのぜいたくな] π … [ο ν 半分
織られた衣服] と [横糸 μ] …1 オボロス…

1517, 186–198 行

σο…ου…λ…χε…ρα…λ…ω…ατη… [金属板] …ελ… [象牙の取っ手を]、⁽⁸⁸⁾ [εχ] … [青銅の] …妻、
[鏡] …の [妻、鏡…木箱] の中… [銅。] [鏡、…銅。] [木箱] …ν 小さい…ο…。

1517, 199–228 行

…4 オボロス。μ… [象牙の] κα…入れ物 [の中。] [剣] …ρα 軟膏入れ κ…4 オボロス、冠…
[角]、リュラー、κορο ⁽⁸⁹⁾ [σ] …σ 木箱、[密接した] …ον [象牙の] 盾…νομακη タンバリン、[木箱]
…2 オボロス。冠、2 オボロス。…κη 糸巻き棒、木箱… [小さい]、2 オボロス、キュリクス… [側
に立っているものの際]、木箱の中…ια …を持つ。[木の] … [粉々になった] …κλινις…ιππη
フレ [アッリオイ区の] エパウケースの、… [キュリクス]、ゾイ [ロスの(娘)] ローティネー、
…場所。[滑車] …古い神殿 [の中、青銅の] … [プシュクテル(冷酒器)] 4 オボロス。[タ
ンバリン⁽⁹⁰⁾]…、カルケーション(杯)、コテュレー(計量カップ)…τα 19 オボロス…κιβωτ…τηρ [固
定された] …ρον フェイデストラトス。…エクサレイプトロン(杯)、…の中 …木箱の中 ες…
螺旋の。ディフロス(椅子)… [青銅のポテーリオン(杯)]、[アルテミスの]⁽⁹¹⁾ 捧げ物…の年…

石碑 5

A 面

<第 1 列>

1521, 1–22 行

…λ…η…χ…1/4 オボロス…ντ…ρι…γ…ωΟ Γ…η [金の] …ο το [υτο]… [首飾り] …λρι… [重さ]
… [重さ] 1/4 オボロス κα… [重さ] 1 ドラクマ 3 オボロス κα…α 金…να χρ… [印章の] … [印
章] …νι ν …ο

<第 2 列>

1521, 21–45 行

[渡した] …β ω ν πα [イアニア区民の] …οντα [神域にて] …金…κ; επε…ου ορ 1 オボロス…
[テミス] トク [レス(347/6)がアルコンの年]⁽⁹²⁾ …λου…ιλ [重さ] …σ [重さ] …3/4 オボロス、

(88) 「象牙の柄を持つ鏡」 (*Ibid.*, p. 46)。

(89) 何を意味するか不明 (*Ibid.*, p. 46)。

(90) 「石鹼入れ」 (*Ibid.*, p. 46)。

(91) 「重さが刻まれた」を補う。 (*Ibid.*, p. 46)。

(92) Linders によると Koehler は IG II² で、年を示すためのアルコンの名前の残存ではなく奉納者の名前の一部と
考える (*Ibid.*, p. 47)

τ…τ… [の下] …の [娘] …υ να… [キュリクス] … [がアルコンの年] …μενο…が [アルコンの] … [渡した] … [エピスタタイに] … [がアルコンの年に] …νπ…ω…χον…

B 面

<第1列>

1521, 46–61 行

…σι…ων…ι [幅広い赤紫の] …ον [縁に波打った縁取りの] … [もう一つまだらの]⁽⁹³⁾ …ενα [テ] オドト [スの] …υβ…ια…νι…ουμς…ι…ιμ… [箱の中] … [箱の中] …ε…λ… λη。 σ…ρῦ…ολ…

<第2列>

1521, 63–73 行

η…υ…φλι…ソー [シゲノスがアルコンの]⁽⁹⁴⁾ 年 (342/1) に… [イカ] ロスの [娘] … [まだらの] …φ… [キトン] …α.θ.ο… [羊毛] …δε…τγ…

1525, 1–18 行

α ι [赤紫色の] … [籠]、12 ドラクマ、これ…ぜいたくな [刺繍された衣服] …白い飾り紐を [もつへアネット] …無記名の、なめらかな衣服。 [キトン] …妻。亜麻の [無記名の衣服。] [アモルギスのキトン。]⁽⁹⁵⁾ [白い二重の無記名の] 子供のキトン。ピュトドスがアルコンの年 (343/2) に。カ [イレストラテー]、箱の中のアモルギスの [キトン。] アルケ [ストラテー、箱の中の [縁取りが織られた] 折りたたまれた衣服。ティモクラ [テースの妻]、箱の中の模様がある [キトン。] リュ [シツラ]、箱の中の白い [キトン。] カッリッペー、縁が赤紫の [子供のヒマティオン。] [エウブーレー、麻の] キトン。 [パンテー] リス、 [広い赤紫色の] キトン。 [アグノデーモスの妻]、麻の [キトン。] ク [ルシス、男物の外衣。] [アリストマケー、とがった縁取りのキトン。] [メリテー、男物のキトン。] 同じ [女性、もう一つ男物のキトン] …

石碑 6

A 面

<第1列>

1524, 1–37 行

… [重さ] …1 オボロス。 του [τ]ο… [ムネー] シプトレ [モ] …23 ドラクマ…のない … [σιου] … [ステファノスの (娘)] ディオクレー… [η] … [ダオーンの (娘)] ムネーモデ [イ

(93) 「加工された羊毛」 (*Ibid.*, p. 47)。

(94) Linders はこの補いに懐疑的 (*Ibid.*, p. 47)。

(95) 「マルメロ色の」 (*Ibid.*, p. 48)。

ケー] …ファ [イニッポスの年⁽⁹⁶⁾に…εση フルーロスの…金の指輪]、重さ。… [α リュコーンの、金の指輪、重さ 2 と 3/4 オボロス。] [テ] オポン [ポスの妻アリストマケー、金の首飾り、重さ 1 ドラクマ] 1 と 3/4 オボロス。[ヒエロクレースの(娘)] ヒエ [ロテア、金のカンタロス、重さ…。] [ヒッポマコスの(娘)] デーモストラテー、白い金の指輪、…重さ 2 オボロス。[デーモストラテー、金の指輪、重さ] 4 と 3/4 オボロス… [金の指輪、重さ] 5 と 3/4 オボロス。⁽⁹⁷⁾ … [の妻、金で留められたカーネリアン、重さ…カッリオスの⁽⁹⁸⁾ 妻 κ… [ρ…重さ 5 と 1/2 オボロス…] υκο 妻、[金の首飾り] …と [指輪…重さ] 2 と 1/2 オボロス。[指輪] …テオポンポス…1 ドラクマ 2 オボロス…ヘルミオ [ネー] … [指輪] … [捧げられた] …λ. ρυ… ο…ωι…δ…σ. ο…λ…指輪…λ. το…

<第 2 列>

1524, 38–87 行

… [重さ] 2 ドラクマ 4 オボロス… [重さを計るために運んだ。] [金の] 重さ…、銀の重さ…。 [以下が、エピスタテースであるス] トラティッポスによって引き渡された。メリテ区のアンテモクリトスの(娘) アリストク [レア]、[指輪]、重さ 1 ドラクマ 2 と 1/2 オボロス。プ [ラ] ンゴーンの [印章と] 金の総量、金の [重さ、合計] 2 と 3/4 オボロス。古い神殿の中から女神官が、トゥーデーモスがアルコンの年 (353/2) のパルテノン神殿のエピスタタイ、すなわちアテネ区のクレオティモス [と同僚の] エピスタタイへ引き渡した。そして彼らが、アリストデー [モ] スがアルコンの年 (352/1 年) のエピスタタイカルナイ区のリュシアスとその同僚に引き渡した。[頭飾り]、…重さ 1 ドラクマ 5 と [3/4 オボロス]、指輪、重さ 2 オボロス…アリストデーモスがアルコンの年 (352/1) に、以下の通りパルテノンに金が捧げられ、そしてエピスタタイであるアカルナイ区のリュシ [ア] スとその同僚が渡した。テエッロスがアルコンの年 (351/50) のエピスタタイ、すなわち…と同僚に引き渡した。αρ…⁽⁹⁹⁾λαδε 1 オボロス。テオフェーモスの娘ペンテテーリス、指輪、重さ 1 オボロス、テオフェーモスの妻ニ [コ] ストラテーが、首飾り 2 点、重さ 2 ドラクマ。金の [未払い分]⁽¹⁰⁰⁾ …金で支払い済み… [銀] 貨でテミストクレスがアルコンの年 (347/6) のエピスタタイが、1 ドラクマ 1/2 オボロス。エウフローンの妻リュシッペー、金で縛られた [印章。] 未計量の。テイトラ [ス区の] テオメーネーストスの妻フ [イ] リア、金の [首飾り]、重さ、[リネンと合わせて] 1 ドラクマ 1/2 オボロス。⁽¹⁰²⁾ ファノストラトスの [妻]、フィロメネー、指輪、重さ 2 ドラクマ 4 オボロス。イフィクラテースの娘イフィディケーが、首飾り、重さ、[リネン] と合わせて、1 ドラクマ 1/2 オボロス。イフィクラテースの娘イフィディ

(96) Linders はファイニッポスの年とすることに懐疑的 (*Ibid.*, p. 49)。

(97) 「4 と 3/4 オボロス」 (*Ibid.*, p. 49)。

(98) 「未計量の。テオグネティス」 (*Ibid.*, p. 42)。

(99) エピスタタイの名前は不明 (*Ibid.*, p. 53)。

(100) 「1 と 1/2 オボロス」を補う (*Ibid.*, p. 53)。

(101) 「3/4 オボロス」を補う (*Ibid.*, p. 53)。

(102) 「1 ドラクマ 1 と 1/2 オボロス。」 (*Ibid.*, p. 54)。

[ケ] ーが、首飾り、⁽¹⁰³⁾…αρ…2 オボロス。… [リネンと合わせて、⁽¹⁰⁴⁾重さ]、1 ドラクマ 5 と 3/4 オボロス。これを、テ [エツ] ロス (351/50) がアルコンの年のエピスタタイ、アイ [クソーネ] 区の [エクセ] ーケストスと同僚のエピスタタイが、アポッロドーロスがアルコンの年 (350/49) のエピスタタイ、キュダテナイオン区の [モ] イラゲネスと同僚に渡した。イフィクラテースの娘イフィ [デ] ィ [ケー]、首飾りと [頭飾り]、[リネン] と合わせて [重さ] 2 ドラクマ、1/2 オボロス。ファノ [クレア]、鎖。⁽¹⁰⁵⁾…重さ 1 ドラクマ 3 オボロス。…ストラ [テー] が、[金の] イアリング、[重さ]、…と [一緒に] …ε…ι…ο…οα [指輪] εα…円型の、3 と 1/2 オボロス。[ヒツ] ポク [レア]、[指輪] …丸い、重さ…ボ [ストリュ] …馬 [の尻尾] Ευρ…アポッロドーロスが [アルコンの] 年 (350/49) の、[エピスタタイが渡した、ランプトライ区の] トラソーン [と同僚のエピスタタイが、カッリマコスがアルコン] の年 (349/8) の [エピスタタイ]、パイオ [ニダイ区の] フィロケデス [と同僚に] 渡した。…σηρα…καί…ροκ…

<第3列>

88-128 行

…η…υ…1 ドラクマ 2 オボロス… [首飾り] …ω… [重さ] …1 ドラクマ 4 オボロス…κα 2 として ερ …αι。[重さ] …3/4 オボロス。[カイ] ローンダスが [アルコンの年 (338/7) の] エピスタタイが、フリュニ コスが [アルコンの年 (337/6) の] [エピスタタイに] この [金を渡した。⁽¹⁰⁶⁾] … [ランプトライ区のエ] ウゲニデーの妻、σ τ… [重さ] 2 ドラクマ 3 と 3/4 オボロス。カイローン [ダスが] アルコンの年 (338/7) [のエピスタタイが] フリュニコスがアルコンの年 (337/6) [のエピスタタイに渡した。] [フリュニコスがアルコンの年 (337/6) に]、ピウトデーロ [スがアルコンの年 (336/5) の] エピスタタイが碑に [記録のない金を] 渡した、[一緒にした金]、… [首飾り]、1 ドラクマ… [耳飾り] … [重さ] 3 と 1/4 オボロス。フリュニコスがアルコンの年 (337/6) の [エピスタタイが]、[自分たちの年に捧げられた⁽¹⁰⁷⁾] この金を…渡した。ピウト [デーロスがアルコンの年のエピスタタイに (336/5)。] カリデーモ [スの (娘)] フィルー [メネー、金の首飾り]、重さ、リネン [と合わせて] …ov [金の] 指輪、[重さ] …α アカル [ナイ区民] ファイドロスの妻、[金] …重さ 3 ドラクマ 2 と 1/2 オボロス。フィレー、[金の指輪、重さ、…] λκ… [金の首飾り、重さ]、[リネン] と合わせて、5 オボロス。λ…白い [金、重さ、…] …。女神官の、任期中に奉納されたものも、引き渡された。⁽¹¹⁰⁾ フィロ [クセ] ノスの妻、[アリ]

(103) Linders はこの空白に首飾りの数が入ると推測 (*Ibid.*, p. 54)。

(104) IG II² では σταθμ [όν]、Linders は σταθμ: と推測 (*Ibid.*, p. 54)。

(105) Linders は鎖の数が入ると推測。おそらく 3 (*Ibid.*, p. 55)。

(106) Linders はこの補いに懐疑的 (*Ibid.*, p. 55)。

(107) Linders はこの補いに懐疑的 (*Ibid.*, p. 57)。

(108) 5 文字の空白、最後の文字は Σ で、奉納者の名前の最後の文字。 (*Ibid.*, p. 57.)

(109) ΦΙΑ、奉納者の名前の冒頭部 (*Ibid.*, p. 57)。

(110) [προσπαρέδ]οσαν、Linders は προσπαραδιδόνα の受動系が使われた例は他にこの目録にないことから、IG II² の補いに懐疑的 (*Ibid.*, p. 57)。

ストノエー…λλ ου 金…重さ 1 ドラクマ 1/2 オボロス。[ピウトデーロス (336/5) がアルコンの] 年のエピスタタイが渡した、これら彼らの年に捧げられたものを、エウアイネトスがアルコンの [年 (335/4) のエピスタタイに]。[金] …ιον 金の、[ポルティコ] の側に、…κ . Ω ι [未計量、重さ、記載あり] … [金の] 指輪、…τη…εο…重さ 1 ドラクマ 1/2 オボロス、…ι.λ. με 重さ …ε [α] 金の [首飾り、ポルティコの] 側に、[キュムベー]、そして [虫が] …κ [テー] シクレスがアルコンの年 (334/3) にも ηγαγ… [エウアイネ] トスがアルコンの [年 (335/4) のエピスタタイが] 渡した。カッリクラティ [デース…そして同僚が、彼らの年に捧げられたものを] …

B 面

<第 1 列>

1524, 129–174 行

[白い飾り紐をもつヘアネット] … [無記名の]、なめらかな、ぼろ、… [キトン…妻。] [亜麻の無記名の衣服、アモルギスのキトン]、⁽¹¹⁴⁾メーリ [アス…無記名の白い] 二重の [子供のキトン、ぼろ]、ピウトドスの [年 (343/2) に。] カ [イレストラター]、箱の中の [アモルギスのキトン、アルケストラター 箱の中の縁取りが織られた折りたたまれた衣服。] [ティモクラテースの妻、箱の中の] 模様がある [キトン。] [リュシッラ]、…ιου、[箱の中の白い] キトン…ου [カ] ッ [リ] ッペー、[縁が赤紫の子供のヒマティオン]、ぼろ。エウブーレー、[麻のキトン、ぼろ。] [パ] ンテーリス、[広い赤紫色のキトン、ぼろ。] [アグ] ノデーモスの妻、[麻のキトン、ぼろ。] [ク] ルシス、[男物] の外衣。[アリストマケー]、とがった縁取りの [キトン]、[メリテー、男物のキトン]。同じ [女性]、もう一つ [男物のキトン]。… [縁に模様のある] キトン…無記名の [赤紫の縁取りの、ぼろ…] ⁽¹¹⁵⁾λε [α?]、⁽¹¹⁶⁾[一緒に縫い込まれたヴェール。] [A] … [タ] ランティノン、ぼろ…⁽¹¹⁷⁾λος…エピスタタイ…白いキトン。…蛙色の [キトン] … [オ] ⁽¹¹⁸⁾ネーシス、⁽¹¹⁹⁾ヒマティオン…ισι… τηρις [キトン] …⁽¹²⁰⁾λα 赤紫色の…vη…v ぼろ…ι.λ.ς…[επι]βα…[διλ]ο…⁽¹²¹⁾λ… [ぼろの] タランティ [ノン。] … [voς アカ] ルナイ区民。[赤紫色の] …ア [ンテ] イカル [モスの妻]、フラシ [ツラ]、[銀色のキトン。] ファナゴラ K… [妻]、[半分織られた] 羊

(111) 「鎖」もしくは「金」(*Ibid.*, p. 58)。

(112) 「縛る」(*Ibid.*, p. 58)。

(113) IG II² では読まれていない 125 行目の最初の 1 文字は H もしくは N、[ἐστάτη]η(立てかけられる) と補われる (*Ibid.*, p. 58)。

(114) 「マルメロ色の」(*Ibid.*, p. 59)。

(115) 註 69 参照。

(116) 奉納者の名前、Linders による読みでは -ολέμη(*Ibid.*, p. 59)。

(117) Linders は 150-1 行に「ソーシゲネスがアルコンの年」と記されていると推測 (*Ibid.*, p. 59)。

(118) IG では o が補われているが、Linders によると石碑上の文字は o ではなく v。(*Ibid.*, p. 59)。

(119) Linders による読みでは、[ἐμ]πλαισί: Σ[ω]τηρις (箱の中の。ソーテーリス)(*Ibid.*, p. 41)。

(120) 「木箱の中: Α…ΟΙΑΛΛ」(*Ibid.*, p. 60)。

(121) タランティノンの前に A、Λ、もしくは Ω の 1 文字 (*Ibid.*, p. 60)。

毛の〔織物、と羊毛と横糸、…羊毛〕⁽¹²²⁾と〔横糸〕…〔オйнаテー、木箱の中のまだらの衣服。〕〔子供の外衣。〕ニコ〔テレースの(娘)ニ〕コマケー、〔カッリッポスの妻ローマー〕⁽¹²³⁾、〔籠〕の中の柔らかい〔羊毛。〕〔ミュルタ〕、箱の〔中の女性のガードル、幅広い赤紫の衣服。〕〔カッリス、籠の中の柔らかく細工された羊毛。〕〔アルキPPER、赤紫色のふちどりのヒマティオン。〕〔デーモニケー、…、幅広い赤紫の模様のあるキトン。〕〔女性のキトン、もう一つ幅広い赤紫色の無記名の衣服。〕〔碑にはない以下のものが神殿で引き渡された。〕…o…

<第2列>

175-225行

…λ…α フレアツリオイ区のリユ〔シクラテースの〕、〔まだらの〕井福、ぼろの、〔美しいヴェール、紐飾り〕に沿って金メッキの光る飾りを持つ。9オボロス、重さ、2オボロス。フィロニケー、木箱の中の外衣、ぼろ。ペルシアの袖のある衣服、アカルナイ区のヒエローニュモスの妻ディオファンテー、金がついた光るドレス、ぼろ、木箱の中のまだらの袖がある〔豪華な〕衣服、メネクラティアによって捧げられた、ぼろ。ディフィロスの妻〔メ〕ネクラティア、麻のキトン、ぼろ。ヘーゲーシツラ、ぼろの麻のキトン。ファナゴラ、まだらの衣服。アリストマケー、白いキトン。テレソー、カエル色のキトン、ぼろ。オエ区のカッリストラトスの妻、模様のある頭帯、白いガードル、同じ女性。カッリPPER、真ん中が紫の白いキトン、ぼろ。麻のキトン、同じ女性。カッリPPER、銀色のキトン。幅広い模様がある幅広い赤紫色のキトン、ぼろ。アフィドナ区のカッリストラトスの妻、まだらの袖のない外衣。フレアツリオイ区のヘーデューレー、アモルギスのキトン、ぼろ。〔タツリ〕ス、ぜいたくなアモルギスの衣服、ふちに模様のある衣服、ぼろ。模様のあるヘアヴェール、ミニユツ〔ラ〕。〔タ〕ツリ〔ス〕、袖のあるキトン、ふち模様のある衣服、ぼろ。アイシモスの(娘)ムネーシストラテー、ふちが赤紫のカエル色のキトン、ぼろ。ミュツリネー、ぜいたくな衣服。ネア〔ン〕ドロスのファノディケー、まだらの衣服、ぼろ。同じ女性、〔男物の〕キトン、ぼろ。ファイニPPER、麻のまだらのキトン。ペルシアの袖のある衣服、像が持つ、モス〔コ〕スの娘レオーステネースの妻が捧げた。リユシマケー、〔ヴェール〕。〔像が〕持つ、ペルシアの袖のある衣服、デーモカリデースの妻、フィレー。像の周りに白いヒマティオン、ぼろ、白い丸い縁どりのある衣服、無記名の衣服。立像の周りに、ぼろ、ふちどりのあるキトン、まだらの〔長衣〕、これはニコマケーが捧げた。〔クセノクラテア〕、白いヒマティオンとキトン。メニPPER、アモルギスの無地のキトン。ファイナレテー、とがった縁取りの羽のあるキトン、ぼろ。ニコマケー、半分織られたキトン、ぼろ。ク〔リユ〕シツラ、クロコトス。アルキPPER、アモルギスのひだが2つある衣服。ヒツピスコスの娘、像の周りに縁取りのあるキトン。ヒツパルケー、アモルギスのキトン。オリュムピアス、アモルギスのペルシア風の袖のある衣服。縁に模様がある衣服、アリストタルコスの

(122) Lindersはこの補いに懐疑的。後の羊毛と横糸は重複かもしくは別の奉納なのか不明。(Ibid., p. 60)。

(123) 「ニコマケーとカッリッポスの妻ニコプトレマー」(Ibid., p. 60)。

(124) 「ぼろ」(Ibid., p. 61)。

妻、ふちが織られた衣服。ソーストラトスの妻、ショール。ポリュエウクトスの妻ヘーデイス
テー、模様がある〔亜麻の〕ペルシアの袖のある衣服。カエル色の衣服。ふちが織られた、模
様がある衣服、同じ女性。デーマレトスの妻テアノー、〔ふちが織られた衣服〕…〔麻の〕、ぼ
ろ。オイナン〔テー〕…〔白い〕丸い縁どりのある衣服…〔像〕を覆う…οε…

<第3列>

226-260行

…τ…κι…περ…ν タランティ〔ノン〕…古い〔座像の周りに〕、χ…〔等しいひだのあるキトン〕…〔文
字〕…半分織られた ε…の中の〔赤紫色の〕…箱の中の…〔半分織られた羽のある衣服〕…〔ク
ロコトス〕…〔アモルギスの。〕〔等しいひだのある〕…〔アモルギスの〕…〔木箱の〕中の〔白い〕
…銅について、⁽¹²⁵⁾…ζωμηρυ〔ς〕…⁽¹²⁶⁾πυνδακ〔ες〕…⁽¹²⁷⁾フィアライ…〔コートーン〕、⁽¹²⁸⁾κιβ〔ωτι〕…⁽¹²⁹⁾〔台、クリ
クスネー（酒杯）、碧玉〕、…⁽¹³⁰⁾μιον κατ…ον 立像 λ…ιον καδι〔σκο〕…レベース（湯沸かし）…板…3、
οιν〔οχ〕…χαρκιον…〔使えない〕σφ…νες 二つ、κ…ον 耳、〔持た〕ない…⁽¹³¹⁾18…κιβω〔τ〕…プシュク
テール ακ…κατροπ〔τ〕…〔の下〕…〔κιβω〔τ〕〕…Π…

その他の断片

1528

<第1列>

1-10行

μ…τ…κλ…〔ぼろ〕…〔キトン〕…キトン…ω…〔多〕…νοε

<第2列>

11-26行

…〔紫の染めの〕…ov〔麻の〕…〔クロコトス〕Λ…〔加工された〕⁽¹³²⁾…〔麻の〕⁽¹³³⁾…ανιον、…ιος
〔神殿管理者が〕捧げた…ονιου〔加工された〕羊毛…〔これらはエピスタイが渡した〕…〔ア
モルギスのキトン〕…〔まだらの〕ε τ〔ε ρ〕…キトン α…οδωρα。ις…〔キトン、クロコトス〕
…ニツペー…〔畳まれた〕…ομ…

(125) 「銅について、λλ〔鏡 119、ほかの小さな…〕」(Ibid., p. 63)。

(126) 「σις 取っ手のない、使えないカドス」(Ibid., p. 63)。

(127) 「底〔のない〕ポテール（酒杯）₃、キユムペー 1」(Ibid., p. 63)。

(128) 「…石罅入れ 5、」(Ibid., p. 63)。

(129) 「木箱…置いた」(Ibid., p. 63)。

(130) 「鏡 22、ポテール」(Ibid., p. 63)。

(131) 「背が高い」(Ibid., p. 63)。

(132) 「羊毛」(Ibid., p. 64)。

(133) 「キトン」(Ibid., p. 64)。

1529

<第1列>

1-22行

…ο…ο…ο…ο…υ. [アモルギスのキトン] … [箱の中]、[ディ] オ [カ] レースの妻レオー [ンティス] … [箱の中]。デ [ィ] オ [カ] レースのレオー [ンティス]、[キトン…ふちにもようのある]。I…οβου [λη] [とがった縁取りのキトン。] アリスト [マケー] [丸い縁どりの、縁に模様のある衣服、箱の中のとがった縁取りの衣服。] [ア] リストマケー、[アモルギスの中心が赤紫の] キトン。…ανη 箱の中のクロコトス…η [木箱の中のキトン]、真ん中が赤紫の衣服と [ヴェール。] パウ [シスト] ラテー、[袖のあるキトン。] ディオグネー [テー]、[縁が赤紫のキトン。] モスコスの [娘、レオース] テ [ネースの] 妻、マルタケー、[縁取りのある衣服、初夏のドレス。] テオポンペー、[縁どりのあるキトン。] カイ [リ] ッ [ペー]、ヴェール。ルソー、金の [文字があるヒマティオン]、無記名のヴェール、扉 [の近くに。] …ο…ας [麻のキトン。] アルキクレイア、[麻のキトン。] …κε…縁が赤紫の [ヒマティオン。] … [麻の] キトン… [クロコトス、ぼろ]。…[アモルギスの]キトン。一重の衣服、ぼろ。[無記名の]クロコトス。ミュツリネー、模様のある [タペストリー。] アンフィゴ [ニ] ス、π… [麻の]、ぼろ。エウコリネー、[キトン]。…ι.ν.χ…φ…ε.επι…ο…ιτη…

<第2列>

23-32行

…ερ…λι…ετε[ρ]…εν…ετη… [ヒマティオン] …へラク [レ] … [幅広い赤紫の] …Ναυς… [キトン] …σ…

1530, 1-6行

ラムプト [レ、妻] …[αρξερξη Κοττ]… [箱の] 中の [幅広い模様のある衣服]、アモルギスのキトン、[箱の] 中の、女性の外衣、同じ女性。アリス [タ] …デーモストラト [スの(娘)]…アリステー

1531

(134)

(135)

…ιωμι…α キュリクス。…ορειον κυ I…IA 2 オボロス。[木箱] …ον、キュリクス οι…象牙の… ε στρατη κι[βωτ]… [ミ] ュツリネー、[コートーン(杯)] …ας Μυν[νιον]…ιστον…ως…

(134) 「柄杓 (おたま)」 (*Ibid.*, p. 64)。

(135) 「石鹼入れ」 (*Ibid.*, p. 64)。

参考文献

一次資料

『ギリシア詞華集』、沓掛良彦訳、第1巻、京都大学学術出版会、2015年。

パウサニアス『ギリシア記』、飯尾都人訳、龍溪書舎、1991年。

ヒポクラテス『新訂ヒポクラテス全集』第二巻、大槻信一郎編集・責任翻訳、エンタプライズ株式会社、1997年。

Demosthenes, *Orations 21–26: Against Meidias. Against Androtion. Against Aristocrates. Against Timocrates. Against Aristogeiton 1 and 2*, Translated by James Herbert Vince, Harvard University Press, 1935.

Hippocrates, “Peri Partheniôn’ (Diseases of Young Girls): Text and Translation, Translated by R. Flemming, A. E. Hanson, *Early Science and Medicine*, Vol. 3, No. 3, 1998, pp. 241–252.

J. Kirchner, *Inscriptiones Graeca: Inscriptiones Atticae Euclidis anno posteriores*. Berlin–Brandenburgische Akademie, 1913–40.

Pausanias, *Description of Greece*, Translated by W. H. S. Jones, Harvard University press, 1954.

二次文献

S. B. Aleshire, *The Athenian Asklepieion: the people, their dedications, and the inventories*, J.C. Gieben, 1989.

J. Blok, *Citizenship in Classical Athens*, Cambridge University Press, 2017.

C. Brøns, *Gods and Garments: Textiles in Greek Sanctuaries from the 7th to the 1st Centuries BC*. PhD diss., University of Copenhagen, 2014.

C. Brøns, “Textile and Temple Inventories: Detecting an Invisible Votive Tradition in Greek Sanctuaries in the Second Half of the 1st Millennium BC.”, *Tradition: Transmission of Culture in Ancient World, Acta Hyperborea 14*, Copenhagen: Museum Tusulanum Press, 2015, pp. 43–83.

L. Cleland, *The Brauron Clothing Catalogues: Text, Analysis, Glossary and Translation*, British Archaeological Reports, 2005.

M. Dillon, *Girls and Woman in Classical Greek Religion*, Routledge, 2002.

D. Georges, “Braurôn” , *Bulletin de correspondance hellénique*, 86, Persée, 1962, pp. 664–683.

Y. Kalliontzis, “An Inventory List and a Votive Relief from the Sanctuary of Artemis Brauronia Found in Oropos” , *Greek Epigraphy and Religion*, 16, Brill, 2020.

A. Kirk, *Ancient Greek Lists Catalogue and Inventory across Genres*, Cambridge University Press, 2021.

T. Linders, *Studies in the Treasure Records of Artemis Brauronia Found in Athens*, Svenska Institutet i Athen, 1972.

E. A. Meyer, “Inscribing in Columns in Fifth–Century Athens” , Irene Berti, Katharina Bolle, Fanny

Opdenhoff and Fabian Stroth ed. , *Writing Matters*, Deutsche Forschungsgemeinschaft, 2017, pp. 205–261.

R. Parker, *Polytheism and Society at Athens*, Oxford University Press, 2007.

A. M. Woodward, “Financial Documents from the Athenian Agora” , *Hesperia: The Journal of the American School of Classical Studies at Athens*, 32, American School of Classical Studies at Athens, 1963, pp. 144–186.